



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕と友情



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017 RI会長メッセージ

第1242回例会 2017年2月8日 No.1212号

会長時間



副会長 鈴木 大次郎

本日は会長不在のため副会長の私が卓話時間をいただきました。ご来客の皆様ごゆっくりとお寛ぎ下さい。今日はまず皆様に中国人民への反日思想の植え付けの実態についてお話します。中国のホテルにて007の映画を見ました。中国のテレビではほとんどテレビの下に字幕が出ます。それを見ていると面白いことに気が付きました。悪者のセリフには(日本語)という文字が必ず付くのです。戦争ものでは日本軍は悪い軍人として中国軍にやっつけられます。このようなテレビ番組を見ていれば日本=悪人という潜在意識が作り上げられると思います。ロータリーの友2月号に酒井大岳様の金子みすづの詩より、与えて生きるという指導講演の内容が出ていました。1. 善きことをなす。2. 果報を求めない。喜ばれる、悦び。3. 共に喜ぶ。4. 語るより、歩む。以上のことを心にとどめて毎日を過ごしていきたいと思います。詳細についてはロータリーの友2月号をご覧ください。以上で卓話を終了します。ご清聴ありがとうございました。

今回の例会(2月15日)

会員卓話
竹内 真一 会員

次回の例会(2月22日)

会員卓話
大旗 健 会員、今田 正敏 会員、小林 康起 会員

出席報告
(例会運営委員会)

2月8日(水)出席者
会員総数 51名
出席会員 39名
欠席会員 12名
ご来賓 0名
ご来客 4名
ゲスト 0名

来客者紹介
(親睦家族委員会)

2月8日(水)出席者
広島RC 2名
広島北RC 1名
広島西RC 1名

幹事報告(山田和弘)

■お知らせ

- ・2017-2018年度版ロータリー手帳のご案内が届きました。回覧を致しますので、必要な方は○印をお付け下さい。なお、1部:648円 5月下旬出来上がり予定となっております。
- ・2月18日(土)午前10時より広島市安佐南区緑井せせらぎ公園内に於いて行います桜の植樹式のご案内を配布しております。出欠は回覧にてお願い致します。
- ・3月22日(水)休会のお知らせを配布しておりますので、ご確認下さい。
- ・パートナー同伴お花見夜間例会のご案内を配布しております。出欠のご回答は同封のハガキにてお願いいたします。
【とき】3月29日(水) 18:30～
【ところ】ラセッタ「本店」
なお、4月5日の例会は通常とおりの例会になりますので、お間違えないようご注意下さい。



.....SMILE BOX

渡部邦昭 会員

先週の土曜日にインフルエンザにかかりました。そのため、先週の例会を休みました。抗生物質を投与したお陰で、順調に治りました。皆さんもインフルエンザには気を付けましょう。

当日計	5,000円	累計	635,536円
-----	--------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】賀谷 俊幸 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【幹事】山田 和弘 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【TEL】082-221-4894

【FAX】082-221-4870

会 員 卓 話

木下 健二 会員

今日は、昨年10月に開催された「2016-2017年度国際ロータリー第2710地区ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)」に参加させて頂いた研修内容をご報告させていただきます。30分、お時間を頂戴いたしますので、構成を大きく3つに分けてお届けいたします。1部はRYLAについて、今回採用したスポーツRYLA、スポーツ雪合戦について説明します。2部は実際、当日の運営の様子を動画にまとめてありますのでそちらを鑑賞頂きます。最後に、今回の研修で学んだことをまとめさせて頂こうと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



まず、青少年指導者養成プログラムRYLAについてご説明いたします。諸先輩がたは充分にご存知だと思いますが、私自身今回初めて研修の存在を知りましたので、周知する意味でご説明させていただきます。

Rotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取って、RYLA(ライラ)と呼びます。趣旨は、「RYLAは年齢14～30歳の若者が集まり、リーダーシップと人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ集中研修プログラムです。RYLAはセミナー、キャンプ、ワークショップなどの形式が多く、通常、期間は3～10日間で、ロータリアンによる主催の下、クラブ、地区、他地区合同のいずれかで行われます。地元のロータリークラブが参加者を推薦し、多くの場合、その参加費用を負担します。選ばれた若者たちは、RYLAでさまざまな事柄を学び、多くの人々と接し、地域社会で積極的に活動するリーダーと出会い、貴重な情報とキャリアのスキルを学びながら自身を育てていきます。」とあります。

今、ご説明したとおりロータリーが中心となり若者にリーダーシップを学んでもらう研修ですけども、一般的に座学が多い研修だそうです。その中で今回はスポーツを通じてリーダーシップを学ぶという一風変わった内容となりました。同地区でも初めての試みということでした。

なぜ、スポーツRYLAになったかという、田原ガバナーよりRYLA主催の要請を受けた福山RCは、もともと3年前からスポーツ雪合戦を通じてリーダーシップを学ぶ企画を温めていたようで、「ならばこの度のRYLAはスポーツをメインとした研修、スポーツRYLAにしたい」とガバナーに提案し、承諾され実現したそうです。

ここで、スポーツ雪合戦についてご説明いたします。1987年にチーム対抗のニュー・スポーツとしてアレンジされ、1988年に北海道で開催された大会で用いられた公式ルールが国際ルールとして制定されました。その後、全国各地で様々な形の大会が開催されるようになり、競技人口は増え続け、現在では2500を超えるチームがあると云われています。世界でも「雪合戦」という名前で普及しているそうですが、やはり一番活発なのは日本だそうです。実は広島にも10チームほどあるそうで、その中には全国大会で優勝したチームもいるそうです。普通の「雪合戦」と大きく異なるのは、審判がいて勝敗条件がきちんと定められていることです。相手チーム全員に雪玉を当てるか相手コートにあるフラッグを取るかで勝敗が決まる、という一見単純なルールですが、コート上に複数あるシェルターと呼ばれる障害物があるのが特徴で、どのシェルターに何人配置するか？ ストレートで狙うかロブで狙うか？ 雪玉を投げるペース配分は？ 雪玉の補給路は？ と、一見球を投げて避けてと単純そうですが、「スポーツ雪合戦」とは、雪合戦の延長として誰でも気軽に楽しめるものであると同時に、瞬時の状況判断力とアクシデントにも動じない精神力、なによりチームワークが問われる戦術性の高いスポーツで非常に奥の深いスポーツでした。で、なによりもハードでした。私も翌日体がバキバキ(筋肉痛)になりました。

◆動画鑑賞

会 員 卓 話

まとめ

この企画は、スポーツ雪合戦だからこそ。二日間という短期間で年齢、職業、立場の違う初対面の参加者達がフラットな関係で対等に意見交換を行うことが出来、親睦を深めることが出来たのだと思います。なぜなら、スポーツ雪合戦は正直マイナースポーツで、私もそうですがほとんどの人が未経験であり参加者に経験の差が無かったことが、毎試合後のミーティングで活発な意見交換に繋がり、試合ごとに新たな発見を同じ目線で共有し、反省し、意見交換し、実践し、の繰り返しで二日間という短い期間でPDCA(計画して、実行して、改善して)を何度も繰り返し経験出来たことが成果だと思います。

実際に初日と二日目ではどのチームも見違えるほど、雪合戦が上手くなっていました。

これが、経験者が多いスポーツであったならば、どうしても経験者が中心となり、未経験者は指示待ち状態になりチームの活性化に時間が掛かったはずですが、スポーツ雪合戦では経験値が皆0ですので、先ほど述べたように、スタートラインが一緒だったことがすべての参加者が同じ成長経験を共有することができ、親睦を深められたのだと思います。

また、スポーツ雪合戦の素晴らしい点は、勝つために、ただ球を投げる、避けるという運動能力を高めるだけではなく、チームを動かす為のリーダーシップ、チームプレイに必要な戦略と戦術、チーム内での自身の役割などを理解し、忠実に行動する能力が必要なので、チームを強くするためにその部分を皆で話し合うことが必然的に行われ、勝つためにはリーダーシップとチームワークが必要であると、ビジネスや社会で生きる上で必要なスキルを自然と学べたところにあります。